

# 統合小学校に関するお知らせ

鶴田町の6つの小学校を統合する「鶴田町統合小学校（仮称）」について、平成32年4月の開校を目標に、町では作業を進めています。小学校統合に関し、必要となる事項について、検討・協議を行う「鶴田町統合小学校準備委員会（※）」を設置したところですが、今回、統合小学校の校名や校歌、校章等を協議する「学校運営部会」を開催しましたので、その概要をお知らせします。

## ※鶴田町統合小学校準備委員会について

校名・校歌・校章、学校運営や学校行事、通学整備体制など、小学校統合に関し、おおむね必要となる事項について、検討・協議を行う機関。保護者や地域住民の代表者、学校教職員などが委員を務める。

準備委員会の効率的な会議運営を図るため、校名・校歌・校章等について協議する「学校運営部会」、行事や部活動、伝統継承等について協議する「教育課程部会」、生徒指導計画、児童会等について協議する「生徒指導部会」など、個別の事項について協議を行う6つの検討部会を設置し、その経過を準備委員会へ報告する。

## 学校運営部会を開催。校名や校歌、校章の決定方法について協議

8月31日（木）と9月25日（月）、学校運営部会が町国際交流会館で開催され、統合小学校の校名や校歌、校章等の決定方法について、出席した委員が協議しました。

会議では、校名や校歌、校章について、現在のいずれかの小学校のものを継承すべきか、または、新しく作るとすれば、公募方式か推薦方式かを話し合いました。また、選考の共通基準としては、「児童や保護者、地域住民が覚えやすく、親しみが湧くこと」「長く継承して、大切にしたいもの」「誰が見聞きしてもわかりやすく、他のものと紛らわしくないこと」が提案されました。

出席者からは、「保護者の間では、鶴田小学校に合わせた形になるのではないかと声が上がっている」「進学先の鶴田中学校を基本に考えてみてはどうか」「6つの小学校それぞれの思いや温度差はどうか」といった意見が挙がりました。

今回の学校運営部会で協議した内容は、10月下旬に開催される統合小学校準備委員会の全体会議で検討されることとなります。



△学校運営部会

### 検討会議での主な意見

- 小・中各一校体制となり、町唯一の小学校になるという意味合いから、校名は「鶴田小学校」にしてはどうか。
- 校章は、統合の印として一新したい。
- 校歌は、学校ごとの特色が詰まっているので既存のものを使うのは難しいのではないかと
- 全て一新するのもいいが、統合小学校の完成や教育活動の計画の作成等に影響が出ないようにしたい

## 統合小学校の建設に係る国庫補助事業採択に向け、文部科学省で要望活動

8月29日（火）、相川町長、松山議長、中野教育長が、文部科学省（東京都霞が関）を訪問し、大臣官房文教施設企画部の山下治部長と初等中等教育局の高橋道和局長へ、統合小学校の建設に係る国庫補助事業採択に向けた要望書を提出。平成30年度の早期に建設に着手できるよう、事業認定に向けて要望しました。



△山下治大臣官房文教施設企画部長（中央）への要望活動